

(様式1)

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和5年11月1日提出

国保依田窪病院院長
倫理委員会委員長 様

申請者
氏名 金田弘美
所属 4階病棟
職名 看護師



※ 受付番号 No.

1. 課題名	看護学生が関連図・看護計画を立案するまでに抱く困難感 —成人看護学実習Ⅰ（急性期）において—
2. カテゴリー	☐ 疫学的な調査のための臨床研究 ☐ 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 ☐ 学会等提出論文 ☐ 委託研究または製造販売後調査 ☒ その他（ 院内研究発表会 ）
3. 実施 責任者名	金田弘美
4. 実施 分担者名	なし
5. 医療の概要	実施期間 2023年9月1日～ 2024年1月31日まで 概 要
6. 医療の対象並 びに実施場 所	対象例数：なし 医療対象：看護学生 実施場所：アンケート調査のため無し
7. 実施計画書	別紙参照
8. 医療における 倫理的、社会的配 慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 (4) その他 研究計画書・研究依頼文に詳細記載あり（添付文章参照）
9. 審査資 料	■実施計画書：添付あり ■ その他：研究依頼文・アンケート用紙添付あり ■同意説明文書及び同意書：説明文添付あり

- 注意事項 1 1～5は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。
- 2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。（別添資料添付漏れのある場合審査できません。）
- 3 ※印は記入しないこと

令和5年度 看護研究計画書
所属：看護部 4階病棟
筆頭研究者：金田弘美 共同研究者：(なし)
計画書作成日： 令和5年9月1日
タイトルもしくはテーマ 看護学生が関連図・看護計画を立案するまでに抱く困難感 ―成人看護学実習Ⅰ（急性期）において―
Ⅰ：研究の動機・背景（何がきっかけで研究に取り組もうと思ったか） A病院B病棟ではC看護専門学校の成人看護学実習Ⅰ（急性期）のため准看護師免許を保有した看護学生（以下学生とする）を受け入れている。学生が受け持つ患者は整形外科の全身麻酔で手術を行う患者を選定している。周手術期看護の特徴は、外科的治療が必要な状態から速やかに回復する過程であり、手術侵襲から術後合併症を予測した関わりだけでなく、精神的・社会的側面への支援や退院指導が求められる。また、入院期間の短縮に伴いこれまで以上に速やかな関わりが重要である。そのため学生も患者の状態に合わせた看護過程の展開を実践することが求められる。C看護専門学校の実習要項では事前学習として実習開始までに術後3日目までを予測した関連図作成・看護問題・看護計画の立案が定められている。しかし、実習当日までに看護の展開を実施していくために必要な事前学習が不十分な状態で実習を開始する学生がいる。また実習開始後に看護問題の優先順位などが分からない、事前学習で行った関連図や看護問題に対し患者の状態を反映できていない学生がいる。そのような学生には不足している内容を助言するところから始まるため、本来成人看護学実習Ⅰ（急性期）で学ぶ周手術期患者を受け持つにあたり、個別性を踏まえた関連図の作成や看護問題および計画の立案・看護目標の作成ができていない状態で実習を進めざるを得ない学生もいる。 さらに、著しく変化していく患者の状態を記録することに追われ、看護実践にまで至らない状況がある。 そのような状況下で、学生指導をしている中、学生から「全身麻酔・疾患・術式に既往歴などを入れた全体関連図の作成が難しい」という声が聞かれた。それらから、学生が関連図・看護問題・看護計画を立案することに対し、困難さを抱いているのではないかと感じた。そのため、成人看護学実習Ⅰ（急性期）を行う学生が関連図・看護問題・看護計画を立案するためにどのような点で困っているかを明らかにし、今後の実習指導に活かしたいと考えた。
Ⅱ：研究目的と研究意義（何を明らかにしたいのか、何を期待されるか） <研究目的> 成人看護学実習Ⅰ（急性期）を行う看護学生の関連図・看護問題・看護計画の立案を作成することに対し、困りごとを明らかにする。

<研究意義>

今回の研究を実施し、困っている部分が明らかになると、成人看護学実習Ⅰ（急性期）を行う看護学生の事前学習が充実することにつながり、実習開始後から状態の変化の著しい看護の展開を円滑に行うことができる。また、後追いの看護問題・看護計画の立案などが最小限になり、日々の記録に集中できるため患者の個別性を踏まえた実習が円滑に進む事ができると考える。さらに事前学習について指導者と教員がいつ・どのような指導をすると良いかが分かれば実習指導の質を高めることにつなげることができる。

Ⅲ：仮説（必要時）

なし

Ⅳ：研究の方法（対象、期間、費用など）

□対象

C看護専門学校の看護学生でA病院B病棟で周術期看護実習を経験した看護学生17名

□研究方法、分析方法

質的量的研究：アンケートによる調査を行い、事前学習を実施するあたりどのようなことに困ったかを調査する。記述内容についてはカテゴリー化をしてに分析する。

アンケート内容：添付資料参照

□データ収集方法

11月 看護学校教員を通じて看護学生へのアンケート用紙の配布する

アンケート配布し1週間、回収箱を設置し回収する

□研究期間と調査期間

<研究期間>

令和5年9月～令和6年2月

<調査期間>

令和5年11月

Ⅴ：倫理的配慮

1. アンケートの提出を持って本研究に同意を得られたとする
2. 回収した情報は、本研究以外に使用しない
3. 個人情報の保護として、アンケートは無記名とし、本研究に協力した学生を記号化し個人が特定できないようにする
4. 回収したアンケート用紙から分析のために作成したデータは分析終了後に破棄する
5. 回収したアンケート用紙は本研究を院内研究で発表後に破棄する
6. 今回研究のアンケートへの協力を拒否しても、実習や実習評価・成績に不利益にはならない
(ア)アンケートへの協力をしない場合でも、看護学校の教員への報告は不要
(イ)アンケート回収後、1週間以内は同意撤回用紙の提出で同意撤回を可能とする
7. 今研究は、依田窪病院倫理委員会の同意を得て実施する

8. 利益相反関係の企業はない
VI：文献検索 ここでは省略とする
VII：その他 ※費用：必要な経費は現時点ではない ※発表形式：院内発表 ※院外発表：検討中 ※添付資料：研究倫理審査用紙・アンケート用紙・依頼文

上田看護専門学校 担当教員先生御中

看護研究 2023 年度

「看護学生が関連図・看護計画を立案するまでに抱く困難感

—成人看護学実習Ⅰ（急性期）において—」に関するアンケート調査についてご協力のお願い

依田窪病院 4 階病棟 看護師 金田弘美

今回の研究目的は、成人看護学実習Ⅰ（急性期）を行う看護学生が関連図・看護問題・看護計画の立案を作成ためにどの部分で困っているかを明らかにすることです。

今回の研究は、成人看護学実習Ⅰ（急性期）を行う看護学生の事前学習が充実することでの実習開始後から状態変化の著しい看護の展開を円滑に行うことができ、後追いの問題・看護計画の立案などが減少し日々の記録に集中できるため患者の個別性を踏まえた実習が円滑に進む事につながるのではないかと考えております。また、困っている部分が明らかになることで、事前学習を通し実際の実習において指導者がいつ・どのような指導をすると良いのかが分かり、今後の実習指導につなげたいと考えております。

お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をいただけると幸いです。

I. 調査方法

A 病院周術期看護実習を経験された看護学生にアンケートによる調査を行います。アンケート調査についてはアンケート配布後 1 週間以内に設置された回収箱に投函をお願いします。

教務の先生には、アンケート用紙・回収箱をお渡ししますので学生への依頼およびアンケート配布・回収箱の設置のご協力をお願いします。

II. 同意および同意撤回について

同意につきましては、アンケートの提出を持って本研究に同意を得られたとさせていただきます。アンケートへの協力を拒否しても、実習や実習評価・成績に不利益は生じません。また、アンケートに協力をしない場合でも、看護学校の教員への報告は不要です。

同意撤回は、アンケート回収後 1 週間以内は同意撤回用紙の提出で同意撤回を可能とさせていただきます。

III. 倫理的配慮

回収した情報は、本研究以外に使用いたしません。個人情報の保護として、アンケートは無記名とし、本研究に協力した学生を記号化し個人が特定できないようにします。回収したアンケート用紙から分析のために作成したデータは分析終了後に破棄いたします。回収したアンケート用紙は本研究を院内研究で発表後に破棄いたします。

IV. 研究結果の公表

今回の研究結果は依田窪病院院内研究会で発表する予定です。

今後、院外への発表も検討しています。

本研究は、依田窪病院倫理委員会の承認を得ております。

V. その他

ご不明な点がありましたら、研究担当者までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

国保依田窪病院 TEL0268-68-2036（代表）

4 階病棟 金田弘美

看護研究 2023 年度

「看護学生が関連図・看護計画を立案するまでに抱く困難感

—成人看護学実習Ⅰ（急性期）において—」に関するアンケート調査についてご協力のお願い

依田窪病院 4 階病棟 看護師 金田弘美

今回の研究目的は、成人看護学実習Ⅰ（急性期）を行う看護学生が関連図・看護問題・看護計画の立案を作成ためにどの部分で困っているかを明らかにすることです。

今回の研究を通し、今後の実習指導の在り方を考えていきたいと思っております。

お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をいただけると幸いです。

I. 調査方法

アンケートによる調査を行います。アンケート調査についてはアンケート配布後 1 週間以内に設置された回収箱に投函をお願いします。

II. 同意および同意撤回について

同意につきましては、アンケートの提出を持って本研究に同意を得られた事とさせていただきます。アンケートへの協力を拒否しても、実習や実習評価・成績に不利益は生じません。また、アンケートへの協力をしない場合でも、看護学校の教員への報告は不要です。

同意撤回は、アンケート回収後 1 週間以内は同意撤回用紙の提出で同意撤回を可能とさせていただきます。同意撤回用紙をお渡ししますので依頼用紙の最後に連絡先を記載しておりますのでご連絡をお願いいたします。

III. 倫理的配慮

回収した情報は、本研究以外に使用いたしません。個人情報の保護として、アンケートは無記名とし、個人が特定できないようにします。回収したアンケート用紙から分析のために作成したデータは分析終了後に破棄いたします。回収したアンケート用紙は本研究を院内研究で発表後に破棄いたします。

IV. 研究結果の公表

今回の研究結果は依田窪病院院内研究会で発表する予定です。

今後、院外への発表も検討しています。

本研究は、依田窪病院倫理委員会の承認を得ております。

V. その他

ご不明な点がございましたら、研究担当者までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

国保依田窪病院 TEL0268-68-2036（代表） 4 階病棟 金田弘美

アンケート調査用紙

成人看護学実習Ⅰ（急性期）に関して、以下の質問にお答え下さい。

【以下、選択式の質問は該当番号に○を、記述式の質問は記述で返答をお願いします】

1. 事前学習を行っていて困ったことがありますか？（選択式）

- ① はい () ② いいえ ()

2. 1. で「①はい」と返答した方にお伺いします。その理由は何ですか？（記述式）

--

3. 全身麻酔の関連図を作成するに当たり参考にした資料について教えて下さい（選択式）

- ① 書籍（書籍名：_____）
② インターネット

4. 実際の周術期の受け持ち患者の状態を踏まえ、関連図に組み込む中で困ったことはありますか？（選択式）

- ①はい () ②いいえ ()

5. 4.で「①はい」と返答した方にお伺いします。どのような内容で困りましたか？（記述式）

--

6. 関連図から看護上の問題が分かり、看護計画の立案へと看護の展開へつながることは

知っていますか？（選択式）

- ① はい（ ） ② いいえ（ ）

7. 実際の実習で作成した関連図から看護問題・看護計画の立案を導き出すことができましたか？（選択式）

- ① はい（ ） ② いいえ（ ）

8. 7.で「②いいえ」と返答した方にお伺いします。どのようにして看護問題・看護計画を作成しましたか？（記述式）

--

9. その他、周術期看護実習で困ったことはありますか？（記述式）

--

10. 実習にを行って理解が深まった部分がありますか？（自由記述）

--

同意撤回書

記

この度、私は「看護学生が関連図・看護計画を立案するまでに抱く困難感
—成人看護学実習Ⅰ（急性期）において—」（研究代表者 金田弘美）に関する
研究に参加することに同意しましたことを撤回いたします。

以上

署名欄

平成_____年_____月_____日

本人署名：_____

同意撤回の意思を確認いたしました。

平成_____年_____月_____日

施設研究責任者：国保依田窪病院

署名 _____

（＊研究者は本意思の確認書のコピー1部を必ず受け取り保管してください）